社会福祉法人　福翠会

事業継続計画（BCP）

平成 28年 4月 1日 作成

平成 28年12月14日（第2版）

平成 3１年　1月11日（第3版）

目　次

1.基本方針 1

2.BCPの策定・運用・対策本部体制 3

3.被害想定 5

4.優先事業と目標復旧時間 8

5.初動対応と重要業務 9

6.災害時対応体制 13

7.災害時対応拠点 21

8.必要資源に関する情報 22

9.事前対策リスト 23

別紙　様式

1.職員携行カード 24

2.災害時業務検討シート 25

3.災害時献立表 26

4.災害時対応拠点レイアウト 27

5.関係機関連絡先リスト【基本情報整理用】 29

6.関係機関情報シート【個別機関用】 31

7.職員情報シート【キーパーソン用】 37

8.備蓄品リスト 50

9.被害状況確認表 60

|  |
| --- |
| **１．基本方針** |

社会福祉法人　福翠会(諫早地区)において事業継続計画（BCP）を策定・運用する目的とともに、当法人の特性を踏まえ、緊急時に事業継続を図る上での基本方針は以下のとおりである。

（１）BCP策定･運用の目的

　①利用者にとって

当法人は、諫早地区において「ケアハウス諫早の里・英智園」の他、グループホーム花の里、デイサービスセンター花の里、デイサービスいこう、小規模多機能型居宅介護よんしゃい、高齢者生活支援ハウス、あんしんハウス諫早(受託事業)、いちご保育園等を運営し、高齢者・児童福祉サービスを提供している。大地震などの災害発生によるサービス停止は、利用者の生命の危険や機能低下をもたらす恐れがあるため、災害時であっても命にかかわる最低限のサービスについては継続していく必要がある。

　②職員にとって

災害発生時にも事業を継続することにより当法人の経営を健全に保つことは、職員の雇用を守る上で重要である。また、災害時の職員の安全の確保に関しても、本BCPの中で併せて検討することにより、職員の安全・安心や法人への帰属意識向上に繋がる。

　③地域にとって

　災害発生時には、地域の要配慮者を受け入れる拠点となるもので、日頃から地域と協力し活動を行うことが必要である。本BCPの中で、災害時の対応方法や地域との連携について検討することにより、地域の災害対応力向上に寄与することができ、地域における当法人の存在感の向上に繋がる。

　④取引先にとって

　本BCPの中で、災害発生時に必要となる人員や物資などの必要資源や対応方法を検討することにより、当法人と取引先相互の事前対策実施や協力体制の構築に繋がる。

（２）BCPの適用範囲

本BCPの直接的適用範囲は、社会福祉法人福翠会の諫早地区全組織とするが、東京地区の法人傘下の各施設においても、災害発生時には、物資の調達をはじめ事業継続のため、相互に協力する。

（３）事業継続の基本方針

　①優先して行う業務

・入所者、職員の生命や生活を保護、維持するための業務を最優先業務とする。

・通所介護その他の業務は縮小または休止するが、業務資源の復旧状況に応じて、順

次、早期に再開を目指す。

 ・法人内の施設間で連携して災害時優先業務に必要な人員、事業所、資機材等の確保、

配分にあたる。

【事業ごとの事業継続の必要性】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業種別 | 実施施設 | 事業の継続の必要性（利用者や地域への影響の大きさ） | 事業継続の考え方 |
| 軽費老人ホーム | ケアハウス諫早の里・英智園 | 大 | 継続 |
| 認知症対応型老人共同生活援助事業 | グループホーム花の里 | 大 | 継続 |
| 通所介護 | デイサービスセンター花の里デイサービスいこう | 小 | 休止 |
| 小規模多機能型居宅介護 | よんしゃい | 中 | 休止 |
| 保育所 | いちご保育園いちご西保育園 | 小 | 休止 |
| 放課後児童健全育成 | 学童保育いちご | 小 | 休止 |
| 地域子育て支援拠点 | 子育て支援センターいちご | 小 | 休止 |
| 高齢者生活支援ハウス | 高齢者生活支援ハウス花の里 | 大 | 継続 |
| サービス付き高齢者向け住宅 | あんしんハウス諫早 | 大 | 継続 |
| 居宅介護支援事業 | ｹｱﾌﾟﾗﾝｾﾝﾀ―福田 | 小 | 休止 |

　②地域への協力

　　・地域の災害時要配慮者は原則受け入れる。

・近隣住民事業所が被災し困難な状況に遭遇している際には、可能な範囲で援助、

支援活動を実施することとする。

　　　　③行政との協力

　　・諫早市と連携し、福祉避難所と同等の機能を果たす。

・外部からのボランティアを受け入れるための体制を早期に構築する。

|  |
| --- |
| **２．BCPの策定・運用・対策本部体制** |

当法人の、「BCPの策定体制」、「平常時におけるBCPの運用推進体制」、及び「緊急時における対策本部体制（代行者を含む）」は以下のとおりである。

なお、BCP及び災害対応計画の更新時期は以下のように定める。

（１）BCP策定体制

BCP策定委員会において検討する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 役割 | 役職 | 担当者 |
| ①責任者 | 理事長 |  |
| ②策定事務局 | 事務長 |  |
| ③策定メンバー | 業務執行理事及び各部門長 | 事務次長、いちご保育園副園長　　看護主任　　介護統括(GH, 英智園、よんしゃい)　 |

（２）平常時におけるBCPの運用（BCM）推進体制

　毎年５月及び必要に応じて理事長が招集し開催する危機管理・防災対策委員会において推進する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 役割 | 役職 | 担当者 |
| ①責任者 | 理事長 |  |
| ②BCM推進責任者 | 業務執行理事 |  |
| ③BCM推進チーム | 事務長看護主任介護統括栄養士主任生活相談員 | 英智園看護師GHﾘｰﾀﾞｰ、事業所管理者英智園栄養士英智園生活相談員 |

（３）災害対策本部体制（BCPを発動し事業継続を実施する体制）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 役割 | 担当者 | 代行者 |
| ①責任者（災害対策本部長） | 理事長　　　　 | 業務執行理事　　 |
| ②副責任者（災害対策本部長代理） | 業務執行理事いちご西保育園長　　　 | 事務長 |
| ③対策本部事務局班 | 事務長　　　 | 事務次長　　 |
| ④総務・広報・生活支援班 | 事務次長　　 | いちご保育園副園長 |
| ⑤介護班（１）（２）（３） | 介護統括　　　 | 管理者、リーダー　　 |
| ⑥救護・医療支援班（１）（２） | 看護職員　　　 | 看護職　　 |
| ⑦栄養・調達・施設管理班 | 栄養士、管理者、寮長　　　　 | 　　 |

（４）BCP及び初動対応マニュアルの更新時期

毎年６月（年1回）に更新する。ただし、事業継続に関わる経営環境に変化があった場合は適宜更新する。

（５）教育、訓練の実施

　職員の防災・危機管理能力の向上及びBCPの内容理解や改善を目的とした教育、訓練を定期的に実施する。

　教育、訓練の実施結果や意見については、危機管理・防災対策委員会で協議、検討し、BCPや初動対応マニュアルに反映させる。

【教育、訓練年間スケジュール】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 内容 | 主な目的 | 対象 | 実施時期（回数） |
| 防災避難訓練(消防署の指導下) | ・初動マニュアルの妥当性の検証と避難経路の確認。・職員、入所者への意識づけ。 | 全職員(入居者・利用者) | １１月（年1回） |
| 参集訓練 | ・参集ルートの検証。・職員への意識づけ。 | 〃 | ９月（年１回） |
| 安否確認訓練 | ・職員への意識づけ。 | 〃 | ９月（年１回） |
| 座学研修(法人内研修) | ・風水害など、災害に関する基礎知識を養う。 | 〃 | ６月（年１回） |
| 机上型訓練 | ・BCPの検証と改善点の洗い出し。・災対本部メンバーの対応力の向上。 | 対策本部メンバーなど（原則は全職員） | １０月（年１回） |
| 避難訓練 | ・各施設毎に、初動マニュアルの妥当性の検証と避難経路の確認。・職員、入所者への意識づけ。・ | 各施設全職員（入居者・利用者） | 毎月１回 |

|  |
| --- |
| **３．被害想定** |

当法人が所在する諫早市は、昭和32年に未曽有の豪雨災害を経験している。一方、雲仙活断層群による地震は当で震度５強～６強が想定されている。本BCPでは、最もリスクが高い災害として洪水・地震を対象とする。また、本計画における施設および周辺の被害を以下のとおり想定する。

（１）地震・水害による被害想定

施設名：（福田A地区）

【揺れ・津波】

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 震 度 予 測 |
| 震度 | 5強～6強 |
| 津波浸水の有無 | なし |
| 津波到達時間（30cm） | ― |
| 液状化の可能性 | なし |

【洪水土砂災害】

|  |  |
| --- | --- |
| 事 象 | 内 容 |
| 河川浸水、洪水 | 危険個所なし |

施設名：（福田B地区）

【揺れ・津波等】

|  |  |
| --- | --- |
| 項 目 | 震 度 予 測　 |
| 震度 | 5強～6強 |
| 津波浸水の有無 | なし |
| 津波到達時間(30cm） |  |
| 液状化の可能性 | 低　 |
| 隣接ビルの崩壊 | 施設は、隣接しているビルなどがあり、建物崩壊、窓ガラスの落下の危険がある。 |

【洪水土砂災害】

|  |  |
| --- | --- |
| 事 象 | 内 容 |
| 河川浸水、洪水 | 本明川、福田川、水路あり。立地が低い場所のため、浸水域がある。 |

施設名：（栗面地区）

【揺れ・津波】

|  |  |
| --- | --- |
| 項 目 | 震 度 予 測 |
| 震度 | 5強～6強 |
| 津波浸水の有無 | なし |
| 津波到達時間（３０cm） | ― |
| 液状化の可能性 | 低 |

【洪水土砂災害】

|  |  |
| --- | --- |
| 事 象 | 内 容 |
| 河川浸水、洪水 | 半造川、水路あり。通園経路の立地が低い場所のため、道路浸水の危険がある。 |
| 土砂の崩落 | 施設は土砂災害警戒区域内に位置しており、土砂の崩落による建物崩壊等の危険がある。 |

　施設名：（真崎地区）

【揺れ・津波】

|  |  |
| --- | --- |
| 項 目 | 震 度 予 測 |
| 震度 | 5強～6強 |
| 津波浸水の有無 | なし |
| 津波到達時間（３０cm） | ― |
| 液状化の可能性 | 低 |

【洪水土砂災害】

|  |  |
| --- | --- |
| 事 象 | 内 容 |
| 河川浸水、洪水 | 危険個所なし |
| 土砂の崩落 | 危険性は低い |

＊被害の想定は① 諫早市第2編地震災害対策編他②防災マップ、風水害ハザードマップから想定

【ライフライン被害】最大クラスで想定

|  |  |
| --- | --- |
| 電 力 | 被災直後に停電し、復旧に1週間程度 |
| ＬＰガス | 揺れにより自動停止する。復旧に５日程度 |
| 上水道 | 被災直後に断水し、復旧に1ヶ月程度 |
| 下水道 | 被災直後に機能支障となり、復旧に１ヶ月程度 |
| 通 信　 | 固定電話：被災直後に不通となり、復旧に１～２週間程度携帯電話：被災直後から繋がりにくくなる。３から５日で一部復旧インターネット：被災直後に不通となり、復旧に１週間程度 |
| 周辺道路等 | ・国道、主要県道、市道など幹線道路は全線通行止め。その後、緊急通行車両のみ通行可能となる・福田B地区施設周辺の道路は、液状化により通行不能となる可能性があり、復旧まで１か月以上・冠水被害を受けた道路は長期間にわたり通行困難となる可能性がある・停電のため、信号などに支障 |

　　＊諫早市地域防災計画などから想定

　【建物、設備被害】

|  |  |
| --- | --- |
| 建 物 | 地震発生時において、諫早市内の各施設の耐震性には問題はないが、窓ガラスが割れ飛散したり、壁や天井の一部が落下する可能性有。福田B地区は洪水により１階部分が浸水する可能性　栗面地区は土砂の崩落により、施設被害が発生する可能性 |
| 設 備関 連 | ・施設内の什器・書棚や機器が転倒する。・停電によりエレベーターなど電気が必要な設備は使用不能となる・福田B地区では地盤沈下の影響で埋設排水管が破損する可能性がある |
| Ｉ Ｔ関 連 | ・業務系サーバの一部が転倒により破損する |

　（２）地震・洪水により想定される業務継続上のリスク

|  |  |
| --- | --- |
| リスク区分 | 内 容 |
| 人 的 | ・死傷者が発生する可能性がある。（入居者、職員、職員の家族）・安否不明者が発生する可能性がある。（外勤者、勤務時間外の職員など）・道路の寸断、通行不能により、出勤や帰宅が困難となる。また、車の使用が困難となり、徒歩での移動となる。・（冬季・夜間・夏季など）空調機能の停止により、入居者の生命機能が低下する可能性がある。・地域周辺の被害程度、被害の広がり次第では、（また、夜間・休日など）人員の不足により、業務の継続が困難となる。 |
| 物 的 | ・倒壊、破損個所がある場合、法人以外の~~内~~他施設で受入の必要が発生する。・補修・復旧作業が必要となる。・福田Ｂ地区では、浸水がある場合、１階部分の使用が困難となり、他のフロアで対応する必要がある。・ライフラインの停止により、業務継続にあたり代替対応が必要な業務が発生する。（入浴サービス、食事など） |
| その他 | ・通信機能の不通により、医療機関、公的機関、取引先との連絡が困難となる。そのため、傷病者の治療ができず、また、医薬品・食糧・物資が不足する。・トイレの使用不能、下水道の停止により衛生状況が悪化する。・ゴミ、廃棄物の収集が行われなくなる。（一般、事業系とも）・福田B地区は周囲にビル等があり、他の建物倒壊による被害や火災延焼の危険性がある。 |

|  |
| --- |
| **４．優先事業と目標復旧時間** |

当法人において災害発生時に優先して行う事業は、「ケアハウス諫早の里・英智園」、「グループホーム花の里」、「高齢者生活支援ハウス」及び「よんしゃい」に関連する事業とし、その他の事業は、休止し段階的に再開する。

　また、優先して行う事業については、必要となる業務（重要業務）を絞り込んだ上で、災害発生後も休止せず継続して実施する。

　その他事業については、目標復旧時間は定めず、状況を見ながら災害対策本部責任者が再開の判断を行う。

|  |
| --- |
| **５．初動対応と重要業務** |

災害発生時の初動対応については、非常災害対策計画に沿って対応する。また、優先事業の継続に必要な業務（重要業務）は、重要度（必要性レベル）に応じて以下のとおり分類する。

重要度については、上から順に高◎、中○、低△、停止×として分類する。重要度高の業務を災害時に対応すべき業務とし、災害対策本部の判断により中、低を取り入れて業務を行う。　併せて、災害発生時特有の業務（追加業務）」についても想定する。　　　　　　（１）通常業務　　①介護業務

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 業　　務 | 順位 | 回数 | 対象者 | 災害本部対応班 | 　　実施方法 | 必要な資源 |
| バイタルチェック | 　◎ | １ | 利用者 | 介護・医務 |  |  |
| 口腔ケア | 　◎ | ２ | 利用者 | 介護・医務 |  |  |
| 排泄介助 | 　◎ | 随時 | 利用者 | 介護 |  |  |
| 食事介助 | 　◎ | ３ | 利用者 | 介護 |  |  |
| 服薬介助 | 　◎ | ３ | 利用者 | 介護・医務 |  |  |
| 移動支援 | 　○ | 随時 | 利用者 | 介護 |  |  |
| 保清 | 　○ | 随時 | 利用者 | 介護 |  |  |
| 体位変換 | 　◎ | 随時 | 利用者 | 介護 |  |  |
| 水分補給 | 　◎ | 随時 | 利用者 | 介護 |  |  |
| 入浴 | 　○ | 随時 | 利用者 | 介護 |  |  |
| 着替え | 　○ | 随時 | 利用者 | 介護 |  |  |
| シーツ交換 | 　○ | 随時 | 利用者 | 介護 |  |  |
| 徘徊者対応 | 　○ | 随時 | 利用者 | 介護 |  |  |
| 洗濯 | 　○ | 随時 | 利用者 | 介護 |  |  |
| 清掃 | 　○ | 随時 | 利用者 | 介護 |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 巡回 | 　△ | 随時 | 利用者 | 介護・医務 |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

②医務関連業務

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務 | 順位 | 回数 | 対象者 | 災対本部対応班 | 実施方法 | 必要な資源 |
| 痰吸引 | 　△ | 随時 | 利用者 | 医務 |  |  |
| 点滴 | 　× | ０ | 利用者 |  |  |  |
| 医薬品の管理 | 　○ | 随時 | 利用者 | 医務 |  |  |
| アセスメント | 　○ | 随時 | 利用者 | 医務 |  |  |
| 感染症対策 | 　◎ | 随時 | 利用者 | 医務 |  |  |
| 看護記録 | 　◎ | 随時 | 利用者 | 医務 |  |  |
| 診療補助 | 　○ | 随時 | 利用者 | 医務 |  |  |
| 定期受診 | 　○ | 随時 | 利用者 | 医務 |  |  |
| 健康診断（統計） | 　△ | 随時 | 利用者 | 医務 |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

③調理栄養業務

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務 | 順位 | 回数 | 対象者 | 災対本部対応班 | 実施方法 | 必要な資源 |
|
| 調理 | 　◎ | 随時 | 利用者 | 給食 |  |  |
| 配膳 | 　○ | 随時 | 利用者 | 給食 |  |  |
| 栄養管理 | 　◎ | 随時 | 利用者 | 給食 |  |  |
| 食材管理・確保 | 　○ | 随時 | 利用者 | 給食 |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

④生活相談関連業務

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務 | 順位 | 回数 | 対象者 | 災対本部対応班 | 実施方法 | 必要な資源 |
|
| 相談・助言 | 　◎ | 随時 | 利用者 | 相談 |  |  |
| 金銭管理 | 　○ | 随時 | 利用者 | 相談 |  |  |
| 家族等への連絡 | 　◎ | 随時 | 利用者 | 相談 |  |  |
| 措置機関等への連絡 | 　○ | 随時 | 利用者 | 相談 |  |  |
| 問い合わせ対応 | 　◎ | 随時 | 利用者 | 相談 |  |  |
| ケアプラン | 　○ | 随時 | 利用者 | 相談 |  |  |
| ファイル管理 | 　△ | 随時 | 利用者 | 相談 |  |  |
| 日用品管理 | 　△ | 随時 | 利用者 | 相談 |  |  |
| 緊急受入れ | 　◎ | 随時 | 利用者 | 相談 |  |  |
| 問い合わせ対応 | 　○ | 随時 | 利用者 | 相談 |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

⑤機能訓練・リハビリ業務

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務 | 順位 | 回数 | 対象者 | 災対本部対応班 | 実施方法 | 必要な資源 |
|
| 訓練・リハビリ | 　× |  |  |  |  |  |
| 生活リハビリ | 　△ | 随時 | 利用者 | 相談 |  |  |
| 計画作成 | 　△ | 随時 | 利用者 | 相談 |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

⑥総務事務管理業務

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務 | 順位 | 回数 | 対象者 | 災対本部対応班 | 実施方法 | 必要な資源 |
|
| 介護報酬などの請求 | 　◎ | 1 | 国保連 | 総務 |  |  |
| 給与計算 | 　◎ | 1 |  | 総務 |  |  |
| 業者への支払い | 　◎ | 1 | 債権者 | 総務 |  |  |
| 資金調達 | 　◎ | 随時 | 銀行 | 総務 |  |  |
| システム管理 | 　○ | 随時 |  | 総務 |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務 | 順位 | 回数 | 対象者 | 災対本部対応班 | 実施方法 | 必要な資源 |
|
| 設備管理（電気・ガス・給排水・空調） | 　○ | 随時 |  | 施設 |  |  |
| 燃料管理 | 　△ | 随時 |  | 施設 |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

⑦施設維持管理業務

（２）災害時特有の業務（追加業務）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務 | 順位 | 災対本部対応班 | 実施方法 | 必要な資源 |
| 負傷者処置 | 　◎ | 医務 |  |  |
| 被害状況の確認 | 　◎ | 施設・総務 |  |  |
| 外部との連絡調整 | 　◎ | 事務 |  |  |
| 安否確認 | 　◎ | 事務 |  |  |
| 広報 | 　△ | 事務 |  |  |
| 建物、設備の補修 | 　△ | 施設 |  |  |
|  |
| 事業系ゴミ、廃棄物の処理 | 　○ | 総務 |  |  |
| 倒壊物、ガレキの除去 | 　○ | 施設 |  |  |
| ボランティアの受入れ | 　○ | 総務 |  |  |
|  | 　 |  |  |  |

（３）重要業務に必要な資源と対応策の検討

　分類した「重要業務」と「災害時特有の業務」については、別紙２「災害時業務検討シート」で具体的な対応方法を検討する。

|  |
| --- |
| **６．災害時対応体制** |

（１）初動対応、ＢＣＰ発動基準

①初動対応

諫早市で震度４以上の地震が発生し被害が生じ、さらに諫早市（福田及び栗面地区）に避難準備情報が発令された場合は、初動対応を行う。

②ＢＣＰ発動基準

諫早市で震度６強以上の地震が発生した場合、または諫早市（福田及び栗面地区）に避難指示が発令された場合は、自動的にＢＣＰを発動する。

ＢＣＰが発動された場合、まず非常災害対策計画に沿って対応し、初動対応が完了した後、ＢＣＰに沿って行動を行う。

その他、災害対策本部長（理事長）が必要と判断した場合おいても、ＢＣＰを発動する。

【対応フロー図】

地震・風水害等の発生

諫早市で、震度６強以上

大津波警報　避難指示

諫早市で震度４以上

津波警報、　避難準備情報

ＢＣＰ発動（初動対応＋ＢＣＰ）

（第２配備）

初動対応

（第１配備）

必要と判断

災害対策本部

介護班（２）

介護班（２）

介護班（２）

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

かいご

責任者、副責任者

**責任者**

理事長　石丸　翠

（代行者：業務執行理事）

**副責任者**

業務執行理事　石丸 智英

いちご西保育園長　森　恵律子

事務局班

**代行者**

事務次長　梁瀬 正

**担当者**

事務長　富永　房利

**介護班(３）**

栄養・調達

施設管理班

救護・医療支援班(2)

救護・医療支援班(1)

介護班（２）

介護班(1)

**担当者**

Gリーダー

石井忠俊

総務・広報

生活支援班

担当者

**寮長**

**松永祥吾**

**代行者**

**生活相談員　蕗谷聡美**

**代行者**

看護師

岩佐房子

**担当者**

看護師

宮崎幸子

**代行者**

看護師

西　恵子

**担当者**

看護師

宮田佐智子子子

**担当者**

管理者

岩永豊子

**担当者**

栄養士

岡本美由紀

**代行者**

管理者

蕗谷雄大

**担当者**

管理者

杉野大寿

**代行者**

Gリーダー

清水こずえ

**代行者**

副園長

北村雅史

**担当者**

事務次長

梁瀬正

（２）配備体制と職員参集

①配備体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 基準 | 参集対象者 | 主な活動内容 |
| 第１配備（初動対応） | (1号配備)諫早市で震度4以上(2号配備)諫早市で震度5弱以上津波警報避難準備情報 | (1号配備)管理者他(通所除く)(2号配備)業務執行理事事務長管理者/ﾘｰﾀﾞｰ生活支援班介護班(1.2.3) | ・参集　 福田A地区施設　　　　 福田B地区施設　・利用者の安全確認、設備点検、被害状況確認、報告、各機関との連絡調整・ＢＣＰ発動の検討 |
| 第２配備（ＢＣＰ発動） | 諫早市で震度6強以上大津波警報避難指示 | 全職員（発災時に明かに参集不可能な職員は、除くこととする。） | ・災害対策本部(英智園)の設置・利用者の安全確認、設備点検、被害状況確認、報告、職員安否・参集状況確認・ＢＣＰの対応体制の構築と行　　動　　 |

②職員参集

　参集に際しては、以下の行動基準による。

【施設外で被災した場合の職員行動基準】

|  |  |
| --- | --- |
| 第１配備１号配備２号配備 | 【自宅で被災】・参集対象職員は、自宅の被害状況、家族の安否を確認後、直ちに福田A地区、同B地区の施設へ参集する。・参集経路が洪水浸水域となっている場合など、参集が困難な場合は、事務局に連絡を行う。【自宅外で被災】・直ちに福田A地区、同B地区の施設へ参集する。・参集経路が洪水浸水域になっている場合や施設所在市外など遠方で被災し参集が困難な場合は、事務局に連絡を行う。 |
| 第２配備 | ・全職員は、安否確認システムに安否、出勤の可否を回答する。・出勤可能な場合は、定められた手順に従い福田A地区、同B地区の施設に参集し、災害対策本部の指示に従う。・出勤可能な場合でも、安全確保のため夜間および日没直前には出勤しない。 |

参集に際しては、余震や洪水の危険性があるため自身の安全を最優先として行動する。参集経路に洪水浸水域等がある場合は、無理に参集せず、避難場所に避難する。

　　配備体制や行動基準を周知徹底するため、職員に携行カード（別紙1）を配布する。

（３）安否確認

　安否確認システムは、法人本部への電話・メールにより行う。

　安否確認の手順については、以下のとおりとする。

　【安否確認手順表】

|  |  |
| --- | --- |
| 職　　員利用者家族の安否確認 | 半径10ｋｍ以内の職員は、自力にて来園、勤務確認を本部責任者（理事長、業務執行理事、いちご西保育園長及び事務長）より指示を受ける。半径10ｋｍ以上の職員で、電話連絡がつかない者は自宅待機とする。（但し、連絡先は、法人本部への電話・メールで行う。）利用者家族による利用者様の安否確認は、法人本部　総務・広報・生活支援班にて行なう。＊福田B地区入居者に係る家族からの安否確認への対応は、B地区において可能な範囲で行う。 |

（４）災害対策本部各班の任務

|  |
| --- |
| 【任務】災害対応や事業継続を行うための方針決定や指揮統制、各班の調整を行う。○責任者（災害対策本部長）：理事長　石丸翠　・災害対応や事業継続の方針や指揮統制の決定　・災害対策本部会議の招集○副責任者（災害対策本部長代理）：業務執行理事　石丸智英、いちご西保育園長　森恵律子　・必要な助言を行うなど責任者を補佐　・責任者不在時の代行（すべての業務）○事務局班（班長：事務長、代行者：事務次長　最低配置人数２名とするが、状況によっては総務・連絡調整班と兼務する）【任務】責任者、副責任者の直接的な指揮下にあり、各班の業務遂行状況等の情報収集や進捗管理等を行い、その情報を責任者、副責任者に報告する。また、災対本部での決定事項を各班に伝達する他、各班相互の調整を行う。＜担当業務＞　・情報収集と進捗管理　・収集した情報の整理　・災害対策本部の運営と決定事項の伝達　・各班の実施業務及び配置する人員の調整　 |

　①災害対策本部・事務局班

　②総務・広報・生活支援班

|  |
| --- |
| 【任務】職員・家族の安否確認・支援、利用者の生活関連業務や外部機関（行政、自治会）との連絡調整等に関する業務を行う。○班長　事務次長　　最低配置人数7名（事務職員・生活相談員を基本メンバーとする）　＜担当業務＞　・職員・家族の安否確認・支援（利用者の安否確認は、介護班の業務）　・地域の要配慮者の受入れ　・行政関係機関（諫早市、諫早市社会福祉協議会）との連絡調整　・自治会・地域住民との連絡調整・ボランティアの受入れ　→自治会・地域住民との連絡調整、ボランティアの受入れについては、業務量が多ければ栄養・調達・施設管理班に分担する。・機密書類及び非常用持出書類の管理　・資金管理、支払い、調達　・その他、他の班に属さない業務　 |

　③介護班（１）、（２）、（３）

|  |
| --- |
| 【任務】利用者の生命機能維持のため介護サービスの継続的な提供を行う。○班長　　介護（１）　統括　　グループホーム花の里１リーダー　代行者　グループホーム花の里２リーダー最低配置人数17名（介護職員を基本メンバーとする）　　　　　介護（２）　統括　　よんしゃい　管理者　代行者　あんしんハウス　管理者最低配置人数5名（介護職員を基本メンバーとする）　　　　　介護（３）　統轄　　英智園　寮長　　　　　　　　　　　代行者　英智園　生活相談員　　　　　　　　　　　　　　　高齢者生活支援ハウス　生活援助員　　　　　　　　　　　　最低配置人員10名（英智園寮母・高齢者生活支援ハウス生活援助員を基本メンバーとする）　＜担当業務＞　・利用者の安否確認及び健康状態の把握　・介護業務で定めた優先業務等の実施　・その他、利用者の生活全般に関する業務　 |

　④救護・医療支援班（１）、（２）

|  |
| --- |
| 【任務】医務看護業務の継続的な提供及び負傷者の手当てを行う。○班長　　１班　統轄　　看護師　(英智園・上席)　　　　　　代行者　看護師　(英智園・次席)　最低配置人数3名（看護職員を基本メンバーとする）2班　統轄　　看護師　(よんしゃい)代行者　看護師　(いこう・上席)　最低配置人数2名（看護職員を基本メンバーとする）　＜担当業務＞　・負傷者の応急手当て　・医療機関との連絡調整　・医務関連業務で定めた優先業務の実施　　 |

　⑤栄養・調達・施設管理班

|  |
| --- |
| 【任務】利用者への食事提供を行う他、被害状況の確認と応急対応や被害個所の復旧対応、物資の調達及び受入れに関する業務を行う。○班長(給食部門)　統轄　栄養士(英智園)　　代行者　栄養士(保育園)最低配置人数12名（栄養士及び調理部門の職員を基本メンバーとする）○班長(調達・施設管理部門)　統轄　デイサービスセンター花の里　管理者最低配置人数6名（デイサービスセンター花の里・高齢者生活支援ハウス生活援助員を基本メンバーとする）　＜担当業務＞　・調理栄養業務で定めた優先業務の実施　・被害状況の確認と応急対応や被害個所の復旧対応、物資の調達及び受入れに関する業務　・施設と施設周辺及びライフラインの被害状況の調査把握　・危険個所の応急対応及び被害個所の復旧対応（取引先への依頼）　・各班の必要物資の把握及び物資の調達、受入れ |

【ボランティア受け入れ体制図】

　　ボランティアの応援要請・受け入れ後の調整については、総務・広報・生活支援班が実施し、以下のボランティア受け入れ体制図のとおり実施する。

　　ボランティアは、人数が不足している班に優先的に割り当てを行う。

災害ボランティアセンター

（諫早市単位）

応援

応援要請

実施業務

・清掃

・利用者の身守り

介護班1.2.3

他のボランティア団体

地域住民などの個人のボランティア

応援要請

実施業務

・調理

・片づけ

・食料調達

栄養調理施設管理班

差配

差配

総務・広報・生活支援班

（業務量が多い場合は、栄養・調達・施設管理班）

応援

|  |
| --- |
| **７．災害時対応拠点** |

（１）緊急時における対策本部

災害時対応拠点となる災害対策本部の設置場所について、以下のとおり定める。

第１順位：諫早の里・英智園　１階食堂

|  |
| --- |
| 拠点情報 |
| 所在地 | 諫早市福田町3320-1 | 面積 | 15名収容可能 |
| 耐震性 | 有・無（鉄筋構造H4年築） | 津波浸水 | 無　 |
| 電話番号（固定） | 0957-21-1323（優先） | 携帯電話番号 | 090-　　- |
| その他連絡先 |  | eメール | eichien@ dream.ocn.ne.jp |
| 非常用電源 | なし（要整備　　時間対応）　 |
| 常備品 | 会議用テーブル２台、椅子1０脚、ホワイトボード1基、筆記用具・付箋1０セット。不足する備品は、1階事務室などから移動し使用する。本部レイアウトは、１階食堂に掲示しており、レイアウトに沿って設営する。 |
| 備考 | 夜間や休日など施設外で被災し参集が困難な者は、安全が確認できた後移動する。災害時の通信手段として、ＭＣＡ無線（混信に強く、免許の取得が比較的容易な無線）の活用も今後検討する。 |

第２順位：　高齢者生活支援ハウス　フロア

|  |
| --- |
| 拠点情報 |
| 所在地 | 諫早市福田町3316-3 | 面積 | 10名収容可能 |
| 耐震性 | 有・無（鉄筋構造H14年築） | 津波浸水 | 無　 |
| 電話番号（固定） | 0957-21-7778（優先） | 携帯電話番号 | 090-　　- |
| その他連絡先 |  | eメール |  |
| 非常用電源 | なし（要整備　　時間対応）　 |
| 常備品 | 備品は、事務室から移動し使用する。事務室の備品は、会議用テーブル1台、椅子５脚、ホワイトボード1基、筆記用具・付箋５セット。レイアウトは、フロアに掲示しており、レイアウトに沿って設営する。 |
| 備考 | 第1順位と同じ |

|  |
| --- |
| **８．必要資源に関する情報** |

緊急事態発生後に中核事業を継続させるために必要な資源に関する情報を以下に整理する。

　なお、備蓄品については別紙８「備蓄品リスト」、事業継続に必要となる関係機関、取引先については別紙５「関係機関連絡先リスト」でそれぞれ取りまとめる。

|  |
| --- |
| **通信手段・各種インフラ** |
| 電話等の通信手段の代替方針 | 携帯電話/携帯メールアドレスを管理し、担当者間で共有する。携帯電話のバッテリー充電については、停電時に備え、予備バッテリーの確保や自動車のシガーソケット電源からの充電ができるよう接続コードを準備確保する。 |
| 電力 | 英智園の非常用発電機は、満タン(190ℓ)で、燃料消費量30ℓ/hのため計算上は、約6時間の運転が可能であるが、予備燃料を保管する。災害対策本部運営のためのポータブル発電機を1台購入検討。発電機稼働可能時間24時間分の燃料を準備（但し、消防法令の貯蔵の制限に留意）。 |
| ガス | カセットコンロを20台、ガスボンベを１００本準備。 |
| 水道 | 施設利用者数101名、職員数106名、地域避難者数（受け入れ可能数）9名、合計216名の3日分の備蓄。災害時に利用が可能であれば、器機を整備し、英智園、花の里の屋上水（湯）タンクの貯水を有効に活用する。花の里の地下スペースに非常用予備発電機を別途設置し、井戸水の揚水ポンプに接続かることにより、井水を生活用水に活用し、合わせて花の里の非常用電源として利用を図ることを検討する。 |

|  |
| --- |
| **資金調達** |
| 資金調達手段、方針 等 | （１）親和銀行に預金している現金を利用。 |
| 備考 |  |

|  |
| --- |
| **必要となる情報及びバックアップに関する情報** |
| 情報名書類名 等 | 関連する重要業務 | 保管場所 | 施設内責任者 | 記録媒体 | ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟの有無 | ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟの方法 | ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟの保管場所 | ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟの頻度 | 備考 |
| 利用者個人情報 |  | 1F | 理事長 | 法人内サーバ | あり（毎日） | メモリー | 本社システム部 | 毎週 |  |
| 法人・職員情報 |  | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 |  |

|  |
| --- |
| **９．事前対策リスト** |

事業継続力を高めるための施設や設備の整備に関する投資計画や投資を伴わない事前準備の計画として以下のものを計画する。

（１）投資（法人規定：）を伴う事前対策

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ﾁｪｯｸ | 対策項目 | 現状の対策レベル | 対策後のレベル | 必要資金（百万円） | 資金調達方法 | 実施年（予定） |
| □ | 施設の耐震化（立替/補強） | 施設が旧耐震基準 | 新耐震基準適合レベル |  |  |  |
| □ | 水害時/津波時の浸水防止工事 | 未対策 | 50cm浸水まで防止 |  |  |  |
| □ | 土砂災害防止工事 | 問題なし | － | － | － | － |
| □ | 書棚・機器等の転倒・落下防止 | 未対策 | － |  | 自法人 |  |
| □ | 災害対策用発電機の購入 | 英智園内非常用のみ | ポータブル発電機花の里非常用発電機　　　 | 調査中 | 自法人 |  |
| □ | 応急給水設備の整備 | 必要あり |  |  | 自法人 |  |
| □ | MCA無線機の準備 | なし |  |  | 自法人 |  |
| □ | 備蓄品の確保 | 一部補充済 | 3日分の確保 |  | 自法人 |  |
| □ |  |  |  |  |  |  |

（２）投資を伴わない事前対策

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ﾁｪｯｸ | 対策項目 | 内容 | 担当部署 | 実施年（予定） |
| □ | 広報に係る様式の準備 | 発災当日、2日目、3日目の広報様式（基準となるフォーマット）の作成 | 総務 |  |
| □ | 情報通信手段の強化 | 施設と施設長宅をつなぐ情報通信手段の確保 | 総務 |  |
| □ | 応援要員の受入れ | ボランティアなど外部からの支援の受入れに関して、マニュアル＜応援要員用＞を作成研修の実施（手順書と併せてポイントを解説） | 総務介護 |  |
| □ | 紙台帳での対応 | システムが使用不能となった場合の紙台帳の作成と保管 | 総務 |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| **職員携行カード****別紙１** |

緊急事態に迅速な初動対応が出来るよう、必要事項を記入の上、全ての職員に以下の携行カードを携帯させることとする。（内容について、別途検討）

〔表面〕



〔裏面〕



使用方法：縦に２つ折り、横に４つ折りにし、名刺入れや財布に納める。

|  |
| --- |
| **災害時業務検討シート****別紙２** |

災害時業務の実施に必要な資源及びそれに係る対応策は以下のとおりである。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 業　務 | 入浴 | 分類番号 | １－１ |
| 災対本部対応班 | 介護班 | 検討部署 | 介護班(1)(2)(3) |

|  |  |
| --- | --- |
| 必要な資源 | 対応策 |
| 被災後の対応 | 事前対策 |
| 　　人 | ・介護職福田A地区　29名福田B地区　17名・大規模災害時、福田A地区に介護職46名 | ・介護職が不足した場合看護、事務部門から応援 | ・災害時作業手順書の整備 |
| 機器・資機材 | ・機械浴、電動ベット | ・上水道、電気が復旧するまで使用不可 |  |
| 物資・インフラ等 | ・水（お湯）・ウエットティッシュ・毛布 | 上水道が使用できないためウエットティッシュで対応 | ・ウエットティシュの必要量の想定と備蓄量の確保 |

|  |
| --- |
| 災害時の具体的な対応手順 |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| 備考 | 検討履歴 |
| 夜間に発生した場合など人員が参集できず不足する場合は、応援を要請する。 |  |

|  |
| --- |
| **災害時献立表****別紙３** |

災害発生から3日目までの献立については以下のとおりとする。ただし、災害発生時に備蓄品が不足する場合や、食材が余分にある場合は献立の見直しを行う。

栄養・調理担当者が不在もしくは参集できない場合については、指示を待たず献立表に沿って食事を提供する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 当日 | ２日目 | ３日目 |
| 献立 | 数量 | 献立 | 数量 | 献立 | 数量 |
| 朝食 | 白粥カツオフレーク水 | 最大時　216食 | 白粥さんま蒲焼水 | 最大時　216食 | 白粥レトルトカレー水 | 最大時　216食 |
| 昼食 | 白粥レトルトカレー水 | 最大時　216食 | 白粥ツナフレーク水 | 最大時　216食 | 白粥焼き鳥缶水 | 最大時　216食 |
| 夕食 | 白粥焼き鳥缶水 | 最大時　216食 | 白粥焼き鳥缶水 | 最大時　216食 | 白粥さんま蒲焼水 | 最大時　216食 |
| 粥・刻み食 |  |  |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| 必要な資機材 |
| 使用機器：カセットコンロ　20台、カセットボンベ　100本水：2Ｌ×ペットボトル　1000本保管場所：英智園１階倉庫、花の里１階防災倉庫 |

|  |
| --- |
| 食事の提供方法 |
| １．マスク・エプロンを着用する。２．ガスコンロを使用し、調理する。調理器具は、使い捨ての食器セットを使用し、必要であれば皿等にサランラップを巻き、対応する。３．皿洗いはせず、残飯はラップに包み、ゴミ袋に入れてすぐ処理する。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 備考 | 検討履歴 |
| 保存食の賞味期限のタイミングなどに合わせて、災害時献立の炊き出し訓練を行うことも検討する。 |  |

|  |
| --- |
| **災害時対応拠点レイアウト****別紙４-1** |

災害時対応拠点のレイアウトは以下のとおりとする。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 拠点名 | 諫早の里・英智園　１階　食堂 | 順位 | 第１順位 |

|  |
| --- |
| レイアウト |
| ＭＣＡ無線介護班総務・連絡調整班災害対策本部・事務局班ホ ワ イ ト ボ ー ド ３ 基広報・生活支援班栄養・調理班救護・医療支援班現場対応・施設管理・調達班コピー機電話設置台 |

|  |
| --- |
| 備考 |
| 備品確認や設営訓練を、毎年１１月の避難訓練と合わせて行う。 |

|  |
| --- |
| **災害時対応拠点レイアウト****別紙４-2** |

災害時対応拠点のレイアウトは以下のとおりとする。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 拠点名 | 高齢者生活支援ハウス　フロア | 順位 | 第２順位 |

|  |
| --- |
| レイアウト |
| ＭＣＡ無線介護班総務・連絡調整班災害対策本部・事務局班ホ ワ イ ト ボ ー ド ３ 基広報・生活支援班栄養・調理班救護・医療支援班現場対応・施設管理・調達班コピー機電話設置台 |

|  |
| --- |
| 備考 |
| 備品確認や設営訓練を、毎年11月の避難訓練と合わせて行う。 |

**別紙５**

|  |
| --- |
| **関係機関連絡先リスト【基本情報整理用】** |

事業を継続させるために必要となる関係機関の情報を以下に整理する。

（１）行政機関、提携医療機関

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 機関名 | 担当 | 電話番号、携帯電話番号等 | メールアドレス | 連絡要請事項等 | 情報シート作成 |
| 諫早市災害対策本部 |  | 0957-22-1500（代表） |  | 情報収集、対応等の連絡先 |  |
|  |  |
| 諫早市社会福祉協議会 |  | 0957-24-5111（代表） |  | 情報収集、対応等の連絡先ボランティア要請等 |  |
| 0957-24-5100 |  |
| 大塚医院 |  | 0957-24-26-0684 |  | 嘱託医 | 要 |
| いかり内科 |  | 0957-22-3733 |  |
| 大沢医院 |  | 0957-22-3688 |  |
| あきやま病院 |  | 0957-22-2370 |  | 精神科 |
| 諫早消防署 |  | 0957-23-0119 |  | 消防・救急 |  |
| 0957-22-8119 |  |

（２）取引先

①物資調達

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業者名 | 担当 | 電話番号、携帯電話番号等 | メールアドレス | 連絡要請事項等 | 重要度 | 情報シート作成 |
| 薬局 |  | ふくだ町薬局 |  | ・医薬品の調達 | 大 | 要 |
|  |  |
| 介護用品 |  | 花王ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙｻｰﾋﾞ |  | ・介護用品の調達 | 大 | 要 |
|  |  |
| 食品 |  | ドンキーワールド |  | ・米・パン・生鮮食品・飲料水 | 　大 | 　要 |
| 土橋鮮魚店 |  |
| 燃料 |  | 日通ｴﾈﾙｷﾞｰｻｰﾋﾞｽ |  |  | 　　大 | 　　要 |
|  |  |
| 介護関係の備品等 |  | 太陽ｼﾙﾊﾞｰｻｰﾋﾞｽ |  | ＊参考(入居者の選択による) |  |  |
|  |  |

②復旧対応

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業者名 | 担当 | 電話番号、携帯電話番号等 | メールアドレス | 連絡要請事項等 | 重要度 | 情報シート作成 |
| 西海建設 |  | 095-825-1413 |  | ・建物破損個所の補修 | 中 |  |
|  |  |
| 九州テクノ |  | 0957-44-8877 |  | ・給排水設備の復旧作業・機械器具設備 | 中 |  |
|  |  |
| 九電工諫早営業所 | 川本三嶋 | 0957-26-1347 |  | ・電気設備の復旧作業・給排水設備の復旧作業・機械器具設備 | 大 | 　　要 |
|  |  |
| 九州ガス |  | 0957-22-3320 |  | ・LPガスの復旧作業 | 　　大 | 　　 |
|  |  |
| 九州ダイショウ |  | 095-820-4590 |  | ・厨房機器の調達 | 　　中 |  |
|  |  |
| 平野電気管理事務所 | 平野 | 090-3192-4992 |  | ・自家用電気工作物の保安管理業務(高圧電気、非常用予備発電機) | 　　大 | 　　要 |
|  |  |
| 株式会社シンテック | 村川指方 | 0957-24-2511 |  | ・電話設備・ナースコール・消防設備保安関係 | 　　大 | 　　要 |
|  |  |
| オージー技研株式会社 | 池尻北島 | 0942-81-1778 |  | ・介護関係機器設備 | 　　大 | 　　要 |
|  |  |
| パーパス株式会社大村サービス | 坂本 | 090-3077-1974 |  | ・花の里屋上給湯設備関係 | 　　中 | 　　要 |
|  |  |
|  |

**別紙６**

|  |
| --- |
| **関係機関情報シート【個別機関用】** |

関係機関のうち特に重要な機関についての個別情報を以下に整理する。

|  |  |
| --- | --- |
| 提供される物資／材料／サービス | リハパン・パット類 |
| 会社名 | 太陽シルバーサービス㈱大村営業所 |
| 業者との取引状況 | ■現在取引中の供給者 |
| 平時における物資等の納入手段（輸送手段 等） | 必要時、営業職による配達有り |
| 口座番号(必要な場合) | 十八銀行西諫早支店　普通預金　179444 |
| 会社 | 住所 | 大村市溝陸町643-1 |
| ホームページアドレス |  |
| 電話番号(代表) | 0957-49-6222 |
| 第一連絡先 | 部署 | 　営業担当 | 担当者名 | 山口　喜世志 |
| 電話番号 | 0957-49-6222 | 携帯電話等 | 090-3969-8143 |
| FAX番号 | 0957-49-6333 | eメール |  |
| 第二連絡先 | 部署 | 本社（福岡県朝倉郡筑前町高田585-1） | 担当者名 |  |
| 電話番号 | 0946-21-4700 | 携帯電話等 |  |
| FAX番号 |  | eメール |  |
| 備考 | ＊　諫早地区に係る関係機関を別葉にて作成！！ |

|  |  |
| --- | --- |
| 提供される物資／材料／サービス | 電気設備の復旧作業、給排水設備の復旧作業、電気機器の修理点検 |
| 会社名 | 株式会社九州電工諫早営業所 |
| 業者との取引状況 | ■現在取引中の供給者 |
| 平時における物資等の納入手段（輸送手段 等） | 必要に応じ、担当職員が来園し点検整備 |
| 口座番号(必要な場合) |  |
| 会社 | 住所 | 諫早市宇都町10-361 |
| ホームページアドレス | https://www.kyudenko.co.jp/company/group/ |
| 電話番号(代表) | 0957-26-1347 |
| 第一連絡先 | 部署 | 　空調管グループ | 担当者名 | 副長　川本　貴光 |
| 電話番号 | 0957-26-1347 | 携帯電話等 | 090-6637-0615 |
| FAX番号 | 0957-26-7635 | eメール |  |
| 第二連絡先 | 部署 | 電気工事グループ | 担当者名 | 副長　三嶋　和弘 |
| 電話番号 | 0957-26-1347 | 携帯電話等 | 090-3010-8019 |
| FAX番号 | 0957-26-7635 | eメール |  |
| 備考 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 提供される物資／材料／サービス | 自家用電気工作物の保安管理 |
| 会社名 | （一社）九州電気管理技術者協会　平野電気管理事務所 |
| 業者との取引状況 | ■現在取引中の供給者 |
| 平時における物資等の納入手段（輸送手段 等） | 定期点検及び必要に応じ、担当職員が来園し点検整備 |
| 口座番号(必要な場合) |  |
| 会社 | 住所 | 大村市小路口町764-22 |
| ホームページアドレス |  |
| 電話番号(代表) | 090-3192-4992 |
| 第一連絡先 | 部署 |  | 担当者名 | 平野　秀光 |
| 電話番号 |  | 携帯電話等 | 090-3192-4992 |
| FAX番号 |  | eメール |  |
| 第二連絡先 | 部署 |  | 担当者名 |  |
| 電話番号 |  | 携帯電話等 |  |
| FAX番号 |  | eメール |  |
| 備考 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 提供される物資／材料／サービス | 消防施設保安管理、ナースコール・電話設備の点検、修理作業 |
| 会社名 | 株式会社シンテック |
| 業者との取引状況 | ■現在取引中の供給者 |
| 平時における物資等の納入手段（輸送手段 等） | 定期点検必要に応じ、担当職員が来園し点検整備 |
| 口座番号(必要な場合) |  |
| 会社 | 住所 | 諫早市宇都町236-26 |
| ホームページアドレス | shin-technical.co.jp/company/ |
| 電話番号(代表) | 0957-24-2511 |
| 第一連絡先 | 部署 | 　弱電工事課 | 担当者名 | 課長　村川　清昭 |
| 電話番号 | 0957-24-2511 | 携帯電話等 | 080-1703-9807 |
| FAX番号 | 0957-24-4963 | eメール |  |
| 第二連絡先 | 部署 | メンテナンス部 | 担当者名 | 部長　指方　久二夫 |
| 電話番号 | 0957-24-2511 | 携帯電話等 | 090-4351-6690 |
| FAX番号 | 0957-24-4963 | eメール |  |
| 備考 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 提供される物資／材料／サービス | 介護機器の点検修理 |
| 会社名 | オージー技研株式会社 |
| 業者との取引状況 | ■現在取引中の供給者 |
| 平時における物資等の納入手段（輸送手段 等） | 必要に応じ、担当職員が来園し点検整備 |
| 口座番号(必要な場合) |  |
| 会社 | 住所 | 佐賀市鳥栖市曽根崎町2371 |
| ホームページアドレス | www.og-wellness.jp |
| 電話番号(代表) | 0942-81-1778 |
| 第一連絡先 | 部署 | 　九州支店保守ｻｰﾋﾞｽ課 | 担当者名 | 係長　池尻　功 |
| 電話番号 | 0942-81-1778 | 携帯電話等 | 090-2291-5905 |
| FAX番号 | 0942-81-1817 | eメール |  |
| 第二連絡先 | 部署 | 九州支店 | 担当者名 | 主任　北島　三成 |
| 電話番号 | 0942-81-1778 | 携帯電話等 | 090-5263-2995 |
| FAX番号 | 0942-81-1817 | eメール |  |
| 備考 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 提供される物資／材料／サービス | 花の里給湯設備の修理点検 |
| 会社名 | パーパース株式会社長崎営業所 |
| 業者との取引状況 | ■現在取引中の供給者 |
| 平時における物資等の納入手段（輸送手段 等） | 必要に応じ、担当職員が来園し点検整備 |
| 口座番号(必要な場合) |  |
| 会社 | 住所 | 大村市植松3-857-2 |
| ホームページアドレス | www.purpose.co.jp/ |
| 電話番号(代表) | 0957-53-6148 |
| 第一連絡先 | 部署 | パーパー大村サービス　空調管グループ | 担当者名 | 坂本　哲郎 |
| 電話番号 | 0957-53-6148 | 携帯電話等 | 090-3077-1974 |
| FAX番号 | 0957-54-5075 | eメール |  |
| 第二連絡先 | 部署 |  | 担当者名 |  |
| 電話番号 |  | 携帯電話等 |  |
| FAX番号 |  | eメール |  |
| 備考 |  |

|  |
| --- |
| **職員情報シート【キーパーソン用】** |

**別紙７**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 石丸　翠 | 役職 | 理事長 | 職員番号 |  |
| 主要な責務 | 英智園施設長　 |
| 自宅の住所 | 諫早市福田町３７－２ |
| 自宅電話番号 | 0957-23-3287 | 携帯電話番号等 | 090-4984-3470 |
| 会社用 eメール |  | 自宅用 eメール |  |
| 上記以外の緊急時連絡先 | 090-1113-1240 | 本人との続柄 | 石丸　智英（息子・業務執行理事） |
| 緊急時連絡先電話番号 |  | 予備電話番号 |  |
| 電話による確認事項、依頼事項 等 | 出社可否 |
| 南海トラフ地震発生時における参集可能性 | 自宅から施設までの距離（徒歩による出社等の可能性判断） | 約　0.8km |
| 平時の通勤手段 | 自動車 |
| 住宅の耐震化の有無 | 有 |
| 浸水状況 | 浸水エリア |
| 資格・技能等（業務継続時に有効と考えられるもの） | ☑応急処置 ☑CPR（心肺蘇生法） □アマチュア無線□防火管理者　　☑緊急時に有効なその他の資格：介護福祉士 |
| 備考 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名 | 石丸智英 | 役職 | 法人理事 | 職員番号 |  |
| 主要な責務 | 経営方針の立案、事業の遂行、法人内管理等 |
| 自宅の住所 | 諫早市福田町37-21 |
| 自宅電話番号 | 0957-23-3287 | 携帯電話番号等 | 090-1113-1240 |
| 会社用 eメール |  | 自宅用 eメール |  |
| 上記以外の緊急時連絡先 |  | 本人との続柄 | なし |
| 緊急時連絡先電話番号 | 090-1113-1240 | 予備電話番号 |  |
| 電話による確認事項、依頼事項 等 | 出社可否、関係団体との連絡、福祉避難所の開設(要配慮者の受入方針の決定)、復旧方針等 |
| 南海トラフ地震発生時における参集可能性 | 自宅から施設までの距離（徒歩による出社等の可能性判断） | 約　0.8km |
| 平時の通勤手段 | 自動車 |
| 住宅の耐震化の有無 | 有 |
| 浸水状況 | 浸水エリア |
| 資格・技能等（業務継続時に有効と考えられるもの） | ☑応急処置 ☑CPR（心肺蘇生法） □アマチュア無線□防火管理者　　☑緊急時に有効なその他の資格：介護福祉士 |
| 備考 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名 | 森　恵律子 | 役職 | 施設長 | 職員番号 |  |
| 主要な責務 | いちご西保育園長、経営方針の立案等 |
| 自宅の住所 | 諫早市泉町34-16 |
| 自宅電話番号 | 0957-51-0683 | 携帯電話番号等 | 090-4985-9962 |
| 会社用 eメール |  | 自宅用 eメール |  |
| 上記以外の緊急時連絡先 |  | 本人との続柄 |  |
| 緊急時連絡先電話番号 |  | 予備電話番号 |  |
| 電話による確認事項、依頼事項 等 | 出社可否、関係団体との連絡調整 |
| 南海トラフ地震発生時における参集可能性 | 自宅から施設までの距離（徒歩による出社等の可能性判断） | 英智園まで約1.5km、いちご西まで4.5km |
| 平時の通勤手段 | 自動車 |
| 住宅の耐震化の有無 | 有 |
| 浸水状況 | 影響なし |
| 資格・技能等（業務継続時に有効と考えられるもの） | □応急処置 □CPR（心肺蘇生法） □アマチュア無線□防火管理者　　□緊急時に有効なその他の資格：介護福祉士 |
| 備考 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名 | 松永祥吾 | 役職 | 寮夫長 | 職員番号 |  |
| 主要な責務 | 諫早の里英智園管理等 |
| 自宅の住所 | 諫早市栗面278-40 |
| 自宅電話番号 |  | 携帯電話番号等 | 090-5720-6199 |
| 会社用 eメール |  | 自宅用 eメール |  |
| 上記以外の緊急時連絡先 |  | 本人との続柄 | なし |
| 緊急時連絡先電話番号 | 090-5720-6199 | 予備電話番号 |  |
| 電話による確認事項、依頼事項 等 | 出社可否、関係団体との連絡 |
| 南海トラフ地震発生時における参集可能性 | 自宅から施設までの距離（徒歩による出社等の可能性判断） | 約　4.9km |
| 平時の通勤手段 | 自動車 |
| 住宅の耐震化の有無 | 有 |
| 浸水状況 | 影響なし |
| 資格・技能等（業務継続時に有効と考えられるもの） | □応急処置 □CPR（心肺蘇生法） □アマチュア無線☑防火管理者　　☑緊急時に有効なその他の資格：介護福祉士 |
| 備考 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 冨永　房利 | 役職 | 事務長 | 職員番号 |  |
| 主要な責務 | 本部事務総括、高齢者支援ハウス管理者、デイサービス管理等　 |
| 自宅の住所 | 西彼杵郡長与町高田郷1006-205 |
| 自宅電話番号 | 095-887-0389 | 携帯電話番号等 | 080-1532-3912 |
| 会社用 eメール | fukusuikai.zimu@gmail.com | 自宅用 eメール |  |
| 上記以外の緊急時連絡先 |  | 本人との続柄 |  |
| 緊急時連絡先電話番号 |  | 予備電話番号 |  |
| 電話による確認事項、依頼事項 等 | 出社可否 |
| 南海トラフ地震発生時における参集可能性 | 自宅から施設までの距離（徒歩による出社等の可能性判断） | 約　27.0km　徒歩出勤不可能 |
| 平時の通勤手段 | 自動車 |
| 住宅の耐震化の有無 | 有 |
| 浸水状況 | 影響なし |
| 資格・技能等（業務継続時に有効と考えられるもの） | □応急処置 □CPR（心肺蘇生法） □アマチュア無線□防火管理者　　□緊急時に有効なその他の資格：介護福祉士 |
| 備考 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 岩永　豊子 | 役職 | 管理者 | 職員番号 |  |
| 主要な責務 | デイサービス管理等　 |
| 自宅の住所 | 諫早市日の出町4-29 |
| 自宅電話番号 | 0957-24-4180 | 携帯電話番号等 | 090-5481-4720 |
| 会社用 eメール |  | 自宅用 eメール |  |
| 上記以外の緊急時連絡先 | 080-1533-5648 | 本人との続柄 | 岩永　雄太（息子・いこう勤務） |
| 緊急時連絡先電話番号 |  | 予備電話番号 |  |
| 電話による確認事項、依頼事項 等 | 出社可否 |
| 南海トラフ地震発生時における参集可能性 | 自宅から施設までの距離（徒歩による出社等の可能性判断） | 約　2.0km |
| 平時の通勤手段 | 自動車 |
| 住宅の耐震化の有無 | 有 |
| 浸水状況 | 影響なし |
| 資格・技能等（業務継続時に有効と考えられるもの） | ☑応急処置 ☑CPR（心肺蘇生法） □アマチュア無線□防火管理者　　☑緊急時に有効なその他の資格：介護福祉士 |
| 備考 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名 | 石井忠俊 | 役職 | グループ職員 | 職員番号 |  |
| 主要な責務 |  |
| 自宅の住所 | 諫早市小長井町小川原浦３８７ |
| 自宅電話番号 | ０９５７-３４-４１７５ | 携帯電話番号等 | ０９０-５０８１-５８４５ |
| 会社用 eメール |  | 自宅用 eメール |  |
| 上記以外の緊急時連絡先 |  | 本人との続柄 |  |
| 緊急時連絡先電話番号 | ０９０-５０８１-５８４５ | 予備電話番号 |  |
| 電話による確認事項、依頼事項 等 | 出社可否、関係団体との連絡 |
| 南海トラフ地震発生時における参集可能性 | 自宅から施設までの距離（徒歩による出社等の可能性判断） | ３５㎞ |
| 平時の通勤手段 | 自家用車 |
| 住宅の耐震化の有無 |  |
| 浸水状況 |  |
| 資格・技能等（業務継続時に有効と考えられるもの） | □応急処置 ☑CPR（心肺蘇生法） □アマチュア無線☑防火管理者　　☑緊急時に有効なその他の資格：介護福祉士 |
| 備考 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名 | 清水　こずえ | 役職 | グループ職員 | 職員番号 |  |
| 主要な責務 |  |
| 自宅の住所 | 諫早市小船越町784-1 |
| 自宅電話番号 |  | 携帯電話番号等 | 090-2961-8644 |
| 会社用 eメール |  | 自宅用 eメール |  |
| 上記以外の緊急時連絡先 | 090-2961-8644 | 本人との続柄 |  |
| 緊急時連絡先電話番号 |  | 予備電話番号 |  |
| 電話による確認事項、依頼事項 等 | 出社可否、関係団体との連絡 |
| 南海トラフ地震発生時における参集可能性 | 自宅から施設までの距離（徒歩による出社等の可能性判断） | 約　4.0㎞ |
| 平時の通勤手段 | 自動車 |
| 住宅の耐震化の有無 |  |
| 浸水状況 |  |
| 資格・技能等（業務継続時に有効と考えられるもの） | □応急処置 ☑CPR（心肺蘇生法） □アマチュア無線□防火管理者　　☑緊急時に有効なその他の資格：介護福祉士 |
| 備考 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名 | 蕗谷雄大 | 役職 | 管理者 | 職員番号 |  |
| 主要な責務 | デイサービスいこう、あんしんハウスの管理等 |
| 自宅の住所 | 諫早市鷲崎町569-2　セジュールわし埼102 |
| 自宅電話番号 |  | 携帯電話番号等 | 090-9594-5579 |
| 会社用 eメール |  | 自宅用 eメール |  |
| 上記以外の緊急時連絡先 |  | 本人との続柄 | なし |
| 緊急時連絡先電話番号 | 090-9594-5579 | 予備電話番号 |  |
| 電話による確認事項、依頼事項 等 | 出社可否、関係団体との連絡 |
| 南海トラフ地震発生時における参集可能性 | 自宅から施設までの距離（徒歩による出社等の可能性判断） | 約　3.0km |
| 平時の通勤手段 | 自動車 |
| 住宅の耐震化の有無 | 有 |
| 浸水状況 | 浸水エリア |
| 資格・技能等（業務継続時に有効と考えられるもの） | □応急処置 □CPR（心肺蘇生法） □アマチュア無線☑防火管理者　　☑緊急時に有効なその他の資格：介護福祉士 |
| 備考 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名 | 西恵子 | 役職 | 看護師 | 職員番号 |  |
| 主要な責務 | デイサービスいこう看護業務 |
| 自宅の住所 | 諫早市中田町111 |
| 自宅電話番号 | 0957-23-9538 | 携帯電話番号等 | 090-8768-9136 |
| 会社用 eメール |  | 自宅用 eメール |  |
| 上記以外の緊急時連絡先 |  | 本人との続柄 | なし |
| 緊急時連絡先電話番号 | 090-8768-9136 | 予備電話番号 |  |
| 電話による確認事項、依頼事項 等 | 出社可否 |
| 南海トラフ地震発生時における参集可能性 | 自宅から施設までの距離（徒歩による出社等の可能性判断） | 約　3.0km |
| 平時の通勤手段 | 自動車 |
| 住宅の耐震化の有無 | 有 |
| 浸水状況 |  |
| 資格・技能等（業務継続時に有効と考えられるもの） | ☑応急処置 ☑CPR（心肺蘇生法） □アマチュア無線□防火管理者　　□緊急時に有効なその他の資格：介護福祉士 |
| 備考 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名 | 杉野　大寿 | 役職 | 管理者 | 職員番号 |  |
| 主要な責務 | 小規模多機能型居宅介護よんしゃい管理等 |
| 自宅の住所 | 諫早市長野町2273 |
| 自宅電話番号 |  | 携帯電話番号等 | 090-8620-6254 |
| 会社用 eメール |  | 自宅用 eメール |  |
| 上記以外の緊急時連絡先 |  | 本人との続柄 |  |
| 緊急時連絡先電話番号 | 090-8620-6254 | 予備電話番号 |  |
| 電話による確認事項、依頼事項 等 | 出社可否、関係団体との連絡 |
| 南海トラフ地震発生時における参集可能性 | 自宅から施設までの距離（徒歩による出社等の可能性判断） | 約　10.0km |
| 平時の通勤手段 | 自動車 |
| 住宅の耐震化の有無 | 有 |
| 浸水状況 |  |
| 資格・技能等（業務継続時に有効と考えられるもの） | □応急処置 □CPR（心肺蘇生法） □アマチュア無線☑防火管理者　　☑緊急時に有効なその他の資格：介護福祉士 |
| 備考 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名 | 宮田　佐智子 | 役職 | 看護師 | 職員番号 |  |
| 主要な責務 | 小規模多機能居宅介護　よんしゃい　看護業務 |
| 自宅の住所 | 諫早市長野町1489-1 |
| 自宅電話番号 | 0957-21-1072 | 携帯電話番号等 | 090-4587-4251 |
| 会社用 eメール |  | 自宅用 eメール |  |
| 上記以外の緊急時連絡先 |  | 本人との続柄 | なし |
| 緊急時連絡先電話番号 | 090-4587-4251 | 予備電話番号 |  |
| 電話による確認事項、依頼事項 等 | 出社可否 |
| 南海トラフ地震発生時における参集可能性 | 自宅から施設までの距離（徒歩による出社等の可能性判断） | 約　4.0km |
| 平時の通勤手段 | 自動車 |
| 住宅の耐震化の有無 | 有 |
| 浸水状況 |  |
| 資格・技能等（業務継続時に有効と考えられるもの） | ☑応急処置 ☑CPR（心肺蘇生法） □アマチュア無線□防火管理者　　□緊急時に有効なその他の資格： |
| 備考 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名 | 北村　雅史 | 役職 | いちご保育園副園長 | 職員番号 |  |
| 主要な責務 | 園長業務の補助 |
| 自宅の住所 | 諫早市栄田町２８－４３ |
| 自宅電話番号 | 0957-26-1873 | 携帯電話番号等 | 090-5932-3914 |
| 会社用 eメール | ichigo@mocha.ocn.ne.jp | 自宅用 eメール | mocha1388apple@gmail.com |
| 上記以外の緊急時連絡先 |  | 本人との続柄 |  |
| 緊急時連絡先電話番号 | 090-5932-3914 | 予備電話番号 |  |
| 電話による確認事項、依頼事項 等 | 安否確認、出勤可否、関係団体との連絡調整 |
| 南海トラフ地震発生時における参集可能性 | 自宅から施設までの距離（徒歩による出社等の可能性判断） | 約　３．３km |
| 平時の通勤手段 | 自動車 |
| 住宅の耐震化の有無 | 有 |
| 浸水状況 | 通勤途上の諫早バイパス（運動公園前付近）が冠水による通行疎外の恐れあり |
| 資格・技能等（業務継続時に有効と考えられるもの） | □応急処置 □CPR（心肺蘇生法） ☑アマチュア無線☑防火管理者　　☑緊急時に有効なその他の資格： 電気工事士 |
| 備考 |  |

**別紙８**

|  |
| --- |
| **備蓄品リスト** |

被災時において緊急支援が到着するまでに必要となる防災用具の整備状況は以下のとおりである。

【備蓄品の確認】

　毎月末日、事務員が備蓄品の保管状況を確認し、チェックする。

１．復旧用資機材（諫早の里・英智園）

　【入所者用】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ﾁｪｯｸ | 用　具 | 必要量 | 備蓄量 | 充足 | 備蓄場所 | 更新時期 |
| □ | 入所者の水＊飲料用と生活用で1人当たり3リットル/日×3～7日分を目安 | 　　　本２２５ | 　　　本 |  | 倉庫 |  |
| □ | 入所者の食料＊1人当たり3食/日×3～7日分を目安 | 　　　食４５０ | 　　　食 |  | 倉庫 |  |
| □ | 救急箱、担架 | 　３ |  |  |  |  |
| □ | 懐中電灯及び予備乾電池、（非常用）ロウソク及びライター | 　９ |  |  |  |  |
| □ | 血圧計、体温計 | 各１ |  |  |  |  |
| □ | 衛生用具類（ウェットティッシュ、トイレットペーパー、紙おむつなど） | 1週間分 |  |  | 倉庫 |  |
| □ | 毛布 | ２０枚 |  |  | 倉庫 |  |
| □ | 自家発電装置、稼働時間12時間分の燃料 | 　※1 |  |  | 倉庫 |  |
| □ | 簡易トイレ | １０台 |  |  | 倉庫 |  |
| □ |  |  |  |  |  |  |

※１　現状の自家発は、Ａ重油満タン１９０ℓで計算上約６時間稼働。400ℓ以上の保管には、消防法上の届出等が必要なため、その範囲で１２時間稼働を想定する。

【職員用】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ﾁｪｯｸ | 用　具 | 必要量 | 備蓄量 | 充足 | 備蓄場所 | 更新時期 |
| □ | 職員の水＊飲料用と生活用で1人当たり3リットル/日×3～7日分を目安 | ２ℓを　　　本　７２ | 倉庫 |  |  |  |
| □ | 職員の食料＊1人当たり3食/日×3～7日分を目安 | 　　　食１４４ | 倉庫 |  |  |  |
| □ | 救急箱、担架 | 　　１ |  |  |  |  |
| □ | バール | 　　１ |  |  |  |  |
| □ | 作業用防具類（ヘルメット、防塵マスク、アイガード、作業用手袋など） |  |  |  |  |  |
| □ | ラジオ（乾電池型、手巻充電型）及び予備乾電池 | 　　１ |  |  |  |  |
| □ | 懐中電灯及び予備乾電池、（非常用）ロウソク及びライター | 　　８ |  |  |  |  |
| □ | 救急箱、担架 | 　　１　　 |  |  |  |  |
| □ | 衛生用具類（ウェットティッシュ、トイレットペーパーなど） | 1週間分 |  |  |  |  |
| □ | 工具類（ペンチ、ハンマー、遮断レンチ、シャベル、バールなど） | 　　１ |  |  |  |  |
| □ | 文具類（鉛筆、マジックペン（数色）、ノートなど） | 必要数 |  |  |  |  |
| □ | 毛布 | 　　２ |  |  |  |  |
| □ | 現金（電話用の小銭も含む）、キャッシュカード、クレジットカード(停電により、ATMが利用不可な状況などに備えるため) |  |  |  |  |  |
| □ | 連絡先リスト（警察、消防、病院等） |  |  |  |  |  |
| □ | 拡声器 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

２．復旧用資機材（グループホーム）

　【入所者用】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ﾁｪｯｸ | 用　具 | 必要量 | 備蓄量 | 充足 | 備蓄場所 | 更新時期 |
| □ | 入所者の水＊飲料用と生活用で1人当たり3リットル/日×3～7日分を目安 | 　　　本５４ | 　　　本 |  |  |  |
| □ | 入所者の食料＊1人当たり3食/日×3～7日分を目安 | 162　食 | 　　　食 |  |  |  |
| □ | 救急箱、担架 | 　　２ |  |  | GH |  |
| □ | 懐中電灯及び予備乾電池、（非常用）ロウソク及びライター | 　　６ |  |  | GH |  |
| □ | 血圧計、体温計 | 各１ |  |  | GH |  |
| □ | 衛生用具類（ウェットティッシュ、トイレットペーパー、紙おむつなど） | 3日分 |  |  | 倉庫 |  |
| □ | 毛布 | 　　枚 |  |  | 倉庫 |  |
| □ | 自家発電装置 | 　　１台 |  |  | 倉庫 | 設置検討 |
| □ | 簡易トイレ(ポータブル) | ２台 |  |  | 倉庫 |  |
| □ |  |  |  |  |  |  |

【職員用】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ﾁｪｯｸ | 用　具 | 必要量 | 備蓄量 | 充足 | 備蓄場所 | 更新時期 |
| □ | 職員の水＊飲料用と生活用で1人当たり3リットル/日×3～7日分を目安 | １８　　　本 |  |  |  |  |
| □ | 職員の食料＊1人当たり3食/日×3～7日分を目安 | 54　　食　 |  |  |  |  |
| □ | 救急箱、担架 | 　　２ |  |  |  |  |
| □ | バール | 　　 |  |  |  |  |
| □ | 作業用防具類（ヘルメット、アイガード、作業用手袋など） | 　　２ |  |  | GH |  |
| □ | ラジオ（手巻充電型） | 　　２ |  |  | GH |  |
| □ | 懐中電灯(手動) | 　　４ |  |  | GH |  |
| □ | 救急箱、担架 | 　　１ |  |  | GH |  |
| □ | 衛生用具類（ウェットティッシュ、トイレットペーパーなど） | ３日分 |  |  | 倉庫 |  |
| □ | 工具類（ペンチ、ハンマー、遮断レンチ、シャベル、バールなど） | 　　１ |  |  | GH |  |
| □ | 文具類（鉛筆、マジックペン（赤・黒）、　　　（スケッチブック） | 2セット |  |  | GH |  |
| □ | 毛布 | 　　６ |  |  | GH |  |
| □ | 現金（電話用の小銭も含む）、キャッシュカード、クレジットカード(停電により、ATMが利用不可な状況などに備えるため) |  |  |  |  |  |
| □ | 連絡先リスト（警察、消防、病院等） | 　　２ |  |  | GH |  |
| □ | 拡声器 | 　　２ |  |  | GH |  |
| □ |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

３．復旧用資機材（高齢者生活支援ハウス）

　【入所者用】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ﾁｪｯｸ | 用　具 | 必要量 | 備蓄量 | 充足 | 備蓄場所 | 更新時期 |
| □ | 入所者の水＊飲料用と生活用で1人当たり3リットル/日×3～7日分を目安 | 　　　本４８ | 　　　本 |  | 倉庫 |  |
| □ | 入所者の食料＊1人当たり3食/日×3～7日分を目安 | 　　　食１４４ | 　　　食 |  | 倉庫 |  |
| □ | 救急箱、担架 | 　　１ |  |  |  |  |
| □ | 懐中電灯及び予備乾電池、（非常用）ロウソク及びライター | 　　３ |  |  |  |  |
| □ | 血圧計、体温計 | 各１ |  |  |  |  |
| □ | 衛生用具類（ウェットティッシュ、トイレットペーパー、紙おむつなど） | 1週間分 |  |  | 倉庫 |  |
| □ | 毛布 | ０枚 |  |  | 倉庫 |  |
| □ | 自家発電装置 | 　　1台 |  |  | 倉庫 | 設置検討 |
| □ | 簡易トイレ | ４台 |  |  | 倉庫 |  |
| □ |  |  |  |  |  |  |

【職員用】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ﾁｪｯｸ | 用　具 | 必要量 | 備蓄量 | 充足 | 備蓄場所 | 更新時期 |
| □ | 職員の水＊飲料用と生活用で1人当たり3リットル/日×3～7日分を目安 | 　１４本 | 倉庫 |  |  |  |
| □ | 職員の食料＊1人当たり3食/日×3～7日分を目安 | 　２７食 | 倉庫 |  |  |  |
| □ | 救急箱、担架 | 　　１ |  |  |  |  |
| □ | バール | 　　１ |  |  |  |  |
| □ | 作業用防具類（ヘルメット、防塵マスク、アイガード、作業用手袋など） | 　　３ |  |  |  |  |
| □ | ラジオ（乾電池型、手巻充電型）及び予備乾電池 | 　　１ |  |  |  |  |
| □ | 懐中電灯及び予備乾電池、（非常用）ロウソク及びライター | 　　３ |  |  |  |  |
| □ | 救急箱、担架 | 　　１　　 |  |  |  |  |
| □ | 衛生用具類（ウェットティッシュ、トイレットペーパーなど） | 1週間分 |  |  |  |  |
| □ | 工具類（ペンチ、ハンマー、遮断レンチ、シャベル、バールなど） | 　　１ |  |  |  |  |
| □ | 文具類（鉛筆、マジックペン（数色）、ノートなど） | 必要数 |  |  |  |  |
| □ | 毛布 | 　　６ |  |  |  |  |
| □ | 現金（電話用の小銭も含む）、キャッシュカード、クレジットカード(停電により、ATMが利用不可な状況などに備えるため) |  |  |  |  |  |
| □ | 連絡先リスト（警察、消防、病院等） |  |  |  |  |  |
| □ | 拡声器 |  |  |  |  |  |
| □ |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

４．復旧用資機材（よんしゃい）

　【入所者用】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ﾁｪｯｸ | 用　具 | 必要量 | 備蓄量 | 充足 | 備蓄場所 | 更新時期 |
| □ | 入所者の水＊飲料用と生活用で1人当たり3リットル/日×3～7日分を目安 | 　　　本２４ | 　　　本 |  | 英智園倉庫 |  |
| □ | 入所者の食料＊1人当たり3食/日×3～7日分を目安 | 　　　食８１ | 　　　食 |  | 英智園倉庫 |  |
| □ | 救急箱、担架 | 各１ |  |  | よんしゃい |  |
| □ | 懐中電灯及び予備乾電池、（非常用）ロウソク及びライター | 　2個20本 |  |  | よんしゃい |  |
| □ | 血圧計、体温計 | 各１ |  |  | よんしゃい |  |
| □ | 衛生用具類（ウェットティッシュ、トイレットペーパー、紙おむつなど） | 1週間分 |  |  | よんしゃい倉庫 |  |
| □ | 毛布 |  |  |  | よんしゃい |  |
| □ | 自家発電装置 | 　　１台 |  |  | 倉庫 | 設置検討 |
| □ | 簡易トイレ | ２台 |  |  | よんしゃい２階 |  |
| □ |  |  |  |  |  |  |

【職員用】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ﾁｪｯｸ | 用　具 | 必要量 | 備蓄量 | 充足 | 備蓄場所 | 更新時期 |
| □ | 職員の水＊飲料用と生活用で1人当たり3リットル/日×3～7日分を目安 | ２ℓを　　　本　２４ | 倉庫 |  | 英智園倉庫 |  |
| □ | 職員の食料＊1人当たり3食/日×3～7日分を目安 | 　　　食　６３ | 倉庫 |  | 英智園倉庫 |  |
| □ | 救急箱、担架 | 　　１ |  |  | よんしゃい |  |
| □ | バール | 　　２ |  |  |  |  |
| □ | 作業用防具類（ヘルメット、防塵マスク、アイガード、作業用手袋など） | 各３ |  |  | よんしゃい |  |
| □ | ラジオ（乾電池型、手巻充電型）及び予備乾電池 | 　　 |  |  | よんしゃい |  |
| □ | 懐中電灯及び予備乾電池、 | 　　 |  |  | よんしゃい |  |
| □ | 衛生用具類（ウェットティッシュ、トイレットペーパーなど） |  |  |  | よんしゃい |  |
| □ | 工具類（ペンチ、ハンマー、遮断レンチ、シャベル、バールなど） |  |  |  | よんしゃい |  |
| □ | 文具類（鉛筆、マジックペン（数色）、ノートなど） |  |  |  | よんしゃい |  |
| □ | 毛布 |  |  |  | よんしゃい |  |
| □ | 現金（電話用の小銭も含む）、キャッシュカード、クレジットカード(停電により、ATMが利用不可な状況などに備えるため) |  |  |  |  |  |
| □ | 連絡先リスト（警察、消防、病院等） |  |  |  | よんしゃい |  |
| □ | 拡声器 | 　　１台 |  |  |  |  |
| □ |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

６．復旧用資機材（あんしんハウス諫早）

　【入所者用】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ﾁｪｯｸ | 用　具 | 必要量 | 備蓄量 | 充足 | 備蓄場所 | 更新時期 |
| □ | 入所者の水＊飲料用と生活用で1人当たり3リットル/日×3～7日分を目安 | 　　　本１１３ | 　　　本 |  | 倉庫 |  |
| □ | 入所者の食料＊1人当たり3食/日×3～7日分を目安 | 　　　食３１ | 　　　食 |  | 倉庫 |  |
| □ | 救急箱、担架 | 　　３ |  |  |  |  |
| □ | 懐中電灯及び予備乾電池、（非常用）ロウソク及びライター | 　　９ |  |  |  |  |
| □ | 血圧計、体温計 | 各１ |  |  |  |  |
| □ | 衛生用具類（ウェットティッシュ、トイレットペーパー、紙おむつなど） | 1週間分 |  |  | 倉庫 |  |
| □ | 毛布 | 　　枚 |  |  | 倉庫 |  |
| □ | 自家発電装置 | 　　１台 |  |  | 倉庫 | 設置検討 |
| □ | 簡易トイレ | ６台 |  |  | 倉庫 |  |
| □ |  |  |  |  |  |  |

【職員用】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ﾁｪｯｸ | 用　具 | 必要量 | 備蓄量 | 充足 | 備蓄場所 | 更新時期 |
| □ | 職員の水＊飲料用と生活用で1人当たり3リットル/日×3～7日分を目安 | ２ℓを　２３本 | 倉庫 |  |  |  |
| □ | 職員の食料＊1人当たり3食/日×3～7日分を目安 | 　３０食 | 倉庫 |  |  |  |
| □ | 救急箱、担架 | 　　１ |  |  |  |  |
| □ | バール | 　　１ |  |  |  |  |
| □ | 作業用防具類（ヘルメット、防塵マスク、アイガード、作業用手袋など） |  |  |  |  |  |
| □ | ラジオ（乾電池型、手巻充電型）及び予備乾電池 | 　　１ |  |  |  |  |
| □ | 懐中電灯及び予備乾電池、（非常用）ロウソク及びライター | 　　３ |  |  |  |  |
| □ | 救急箱、担架 | 　　１　 |  |  |  |  |
| □ | 衛生用具類（ウェットティッシュ、トイレットペーパーなど） | 1週間分 |  |  |  |  |
| □ | 工具類（ペンチ、ハンマー、遮断レンチ、シャベル、バールなど） | 　　１ |  |  |  |  |
| □ | 文具類（鉛筆、マジックペン（数色）、ノートなど） | 必要数 |  |  |  |  |
| □ | 毛布 | 　　８ |  |  |  |  |
| □ | 現金（電話用の小銭も含む）、キャッシュカード、クレジットカード(停電により、ATMが利用不可な状況などに備えるため) |  |  |  |  |  |
| □ | 連絡先リスト（警察、消防、病院等） |  |  |  |  |  |
| □ | 拡声器 |  |  |  |  |  |
| □ |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

**別紙９**

|  |
| --- |
| **被害状況確認表** |

　把握した被害状況を整理するため、以下により確認表を作成し、災害時に使用する。

【負傷者等の状況】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 利用者 | 職員 | 来訪者 | 合計 |
| 死亡 |  |  |  |  |
| 意識不明 |  |  |  |  |
| 重症 |  |  |  |  |
| 軽傷 |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 利用者 | 職員 | 合計 |
| 行方不明 |  |  |  |
| 連絡不通 |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |

【建物の状況】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 建物の名称 | 状態 | 備考 |
| 諫早の里・英智園 |  |  |
| ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ花の里（１） |  |  |
| ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ花の里（２） |  |  |
| ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ花の里 |  |  |
| 高齢者生活支援ﾊｳｽ花の里 |  |  |
| デイサービスいこう(ｹｱﾌﾟﾗﾝｾﾝﾀｰ福田含む) |  |  |
| よんしゃい |  |  |
| いちご保育園(子育て支援ｾﾝﾀｰいちご含む) |  |  |
| 学童保育いちご |  |  |
| いちご西保育園 |  |  |
| あんしんハウス諫早 |  |  |

【ライフラインの状況】

|  |  |
| --- | --- |
| 種別 | 状況 |
| 電話等の通信手段 |  |
| 電力 |  |
| ガス |  |
| 水道 |  |
| その他 |  |

【必要な資源】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 必要度 | 名称 | 数量 |
| 高 |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 必要度 | 名称 | 数量 |
| 中 |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 必要度 | 名称 | 数量 |
|  |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

【非常災害時の点検項目・チェックリスト】

１．停電に備えた非常用自家発電機関係

　〇英智園非常用発電機（管理主任者が毎月点検）発電有効時間が、６時間程度であり緊急時の燃料供給を確保する。(燃料タンクは、満タンで190ℓ、燃料消費量は約30ℓ/hのため、計算上は約６時間運転可能)

　　・緊急時の燃料貯蔵については、消防法令に基づく。また、供給元との安定的供給を協議する。

　　・加えて、予備の発電機の準備を検討する。

２．電灯（照明）関係

　〇照明確保の懐中電灯は各施設で保管管理しており、数、電池量について確認すること。

３．防寒関係

　〇毛布については、各施設で保管管理。石油ストーブについて、燃料を確保する。

４．介護・医療機器

　〇関係医療機関と連携をとるとともに、必要最小限の機材を必要な各施設が保管確保する。

５．生活用水関係

　〇英智園屋上市水タンク（貯水量　　ｔ）、花の里屋上市水タンク（４ｔ）、井戸水湯タンク（２ｔ）を有効活用する。

　〇花の里の浴場湯を供給している井戸水の災害時停電中の利用を図るため、非常用発電機でも利用できるよう井水ポンプの設備、発電機の検討を行う。

　〇飲料水、清拭用ウェットティシュについては各施設で管理保管。

６．その他、災害発生時で必要な資材等の確保は、別紙８備蓄品を基本に各施設がチェックを行う。